



## 使い手の発想の数だけ用途が広がる 現代のビレッジに置きたい 鋼鉄製ミニコンテナ

世の中にあるバイクガレージやストレージルーム、  
プレハブ小屋をもっと楽しく、カッコよくしてみよう！  
そうしてプランニングしたのが、この6坪のLGSコンテナです。

デイトナハウス×LDKが推したいプランはミニショップとして活用することです。いよいよ来年に迫ったオリンピックのスタジアムの周辺やロードサイドに期間限定の仮設建築としても使えたりと、用途の幅はかなり広いのです。

Mini Shop



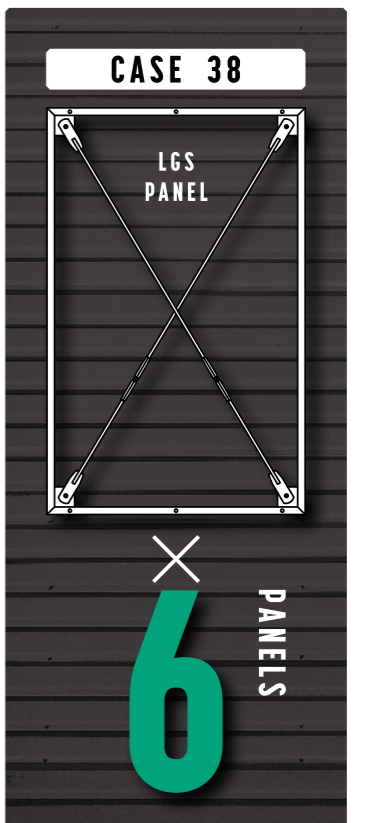
Bike Garage

たくさんのアイデアの中でも、ファンからご要望が一番多かったのが、やはりバイクガレージ。奥行き2スパンはバイクを収めるのにジャストサイズ。ちょっとした整備スペースやデスクスペースも確保できてしまいます。梁を利用して天井に各ツールやギアの収納しちゃうのもお手の物。



デイトナが提案する  
新しい建築のかたち

**DH×L**  
DAYTONA HOUSE×LDK



What's DAYTONA HOUSE ?

デイトナハウスを構成するのは、LGSと呼ばれる軽量鉄骨のパネルで、厚さ3.2mm、幅12.5cm、厚み5cmの「Cチャンネル」と呼ばれる部材を、横幅180cm、縦270cmの長方形に溶接して製作しています。対角線のクロスしたパーツは、「ブレース」と呼ばれる筋違いで、力の伝達を受け持つ大切な役割を持っています。「柱」と「梁」と呼ばれる縦と横の部材を使って軸組を作っていく一般的な建築とは違って、デイトナハウスはこのLGS パネルを連結することで住宅、ガレージ、別荘、店舗、マンションなどの様々な建築を可能とする、全く新しいカタチのシステムなのです。つまりこのLGS パネルを使った建物全てがデイトナハウスと言う訳です。パネルの枚数を数えるだけで、建築の広さ、およその予算がイメージできる分りやすさと、パウダーコーティングが施されたその鉄の素材感が醸し出すハードボイルドな空間のテイストも持ち味です。

[www.daytona-house.com](http://www.daytona-house.com)

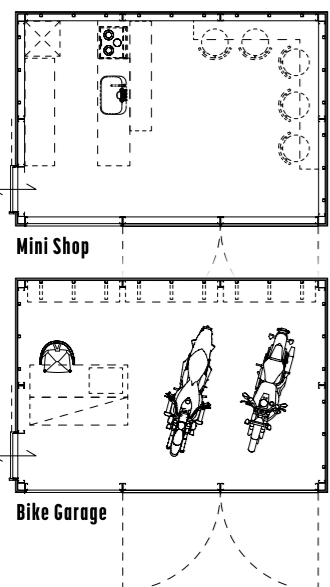
● INFORMATION  
**LDKinc.**

代表: 玉田 教士  
[www.ldk.co.jp](http://www.ldk.co.jp)  
03-6228-4933

デイトナをはじめ、カーマガジンでの長期連載、ムック本であるCAR&HOMEにて、常にクルマと住宅の関係について提案し続けてきた建築プロデュース会社LDK inc. 建築設計はもちろんのこと、建築システムの開発や商品開発も行う。

### FLOOR PLAN

スタンダードな仕様は3スパン(横幅)×2スパン(奥行き)のサイズ。もちろんLGSパネル工法なので、要望に合わせて自由に拡張が可能となっています。FASブラケットやオリジナルのパーティションシステムを駆使すればちょっとした部屋にすることもなれても可能です。



かつて、まだ都市が発展する前の時代、人々は容易に手に入りやすい素材を用いて簡単な小屋のような建物をつくり、そこに小さな単位の家族が集まって暮らしていたと言われていました。その中心には広場のようなパブリックな空間があり、各小屋の入り口はその広場に向かって開いており、人々のコミュニティスペースとしても活用されていました。今回は、小屋のある現代のビレッジをテーマに、間口3スパン×奥行き2スパンという小さなLGSコンテナに様々な使い方を発見してみることになります。

そんな「住人十色」のアレンジで楽しみたいだけの6坪のLGSコンテナ。バイクガレージ、ミニショップ、趣味部屋、オフィス、アトリエ、キッズルームなどなど、使い方のバリエーションは、ユーザーの発想の数だけ生まれます。LGSコンテナを用いた趣味性に富む現代のビレッジ。そんな空間があったらこの上なく楽しいと思いませんか？